

2023. 11. 2 レジリエンス協会 資料

レジリエンスとSDGsの融合に向けた 京都市の取組

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



**CITIES
NETWORK**

レジリエント・シティ京都市統括監
Chief Resilience Officer(CRO)

藤田 裕之

hrfujita@city.kyoto.jp

そもそも

SDGsとは何か？

そもそもSDGsとは・・・

「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」

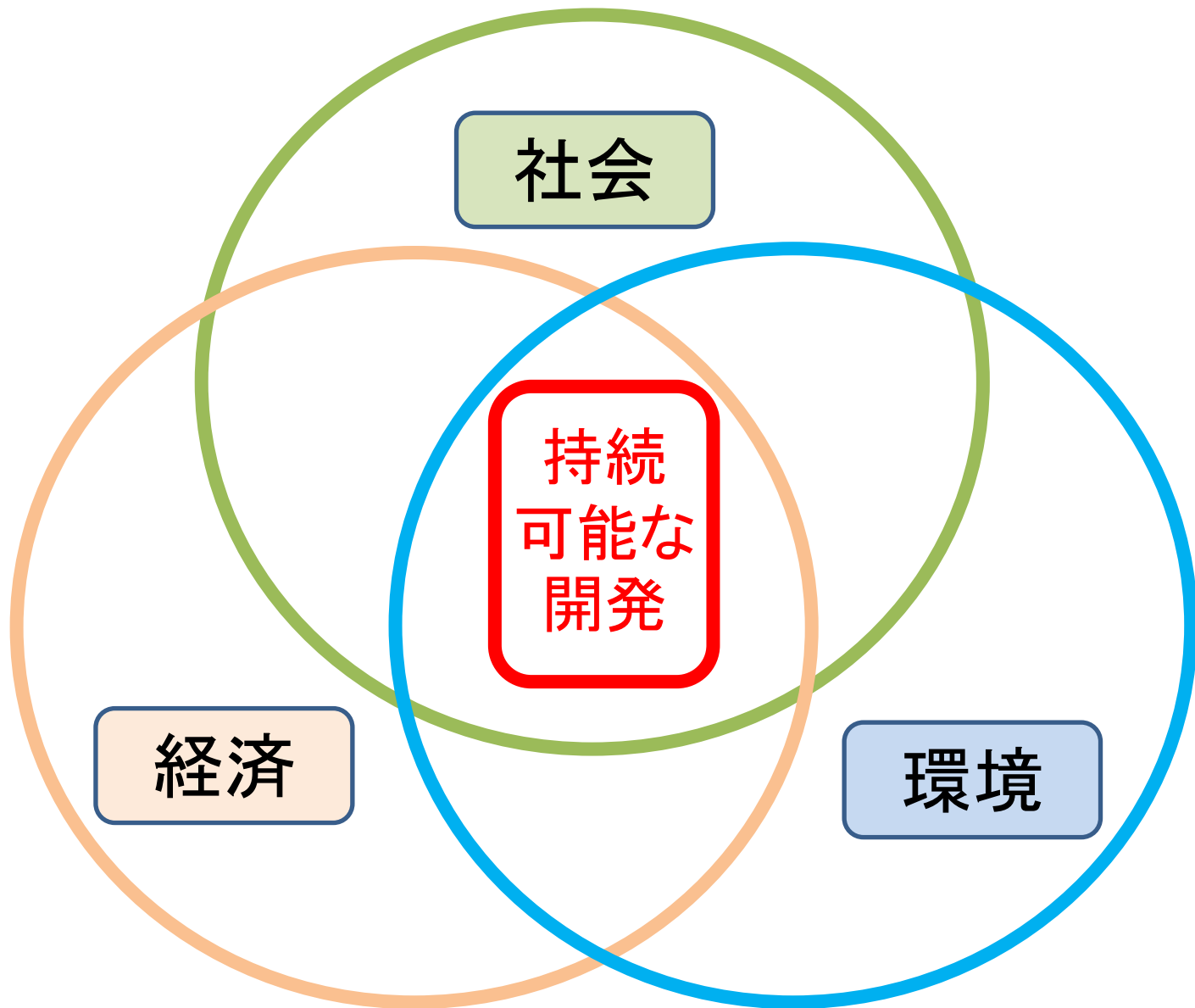
- 2015年9月の国連サミットで採択され、国連加盟193か国が2016年～2030年の15年間で達成するために掲げた目標
- 17の大きな目標と、それらを達成するための具体的な169の達成基準(ターゲット)、232の指標で構成

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



全体の目標を
貫く大前提
「誰ひとり取り残さない」



経済成長(豊かさ)、社会的包摂(支え合い)、環境保護(自然)という3つの要素を調和させることが「持続可能な開発」の原点

SDGsについて考える大前提として

Sustainable・・・「持続可能」の主体, 目的は？

あらゆる生物、水、空気→ 「プラネタリー・ヘルス」

Development・・・「開発」ではなく「発展」「成長」

→むしろ 「持続可能な仕組みの開発」

Goal・・・fore casting ではなく back casting

SDGsが掲げる2030年はいくまでも通過点

2030年の先を見通し
17の目標に限定しない

「超 SDGs」

SDGsを正しく理解する上で不可欠な視点と
「4つの繋がり」への気づきの大切さ

周囲の人々

自然や環境

物質的な豊かさ、利便性、経済性を最優先する
社会の在り方、ライフスタイルに対するアンチテーゼ

～新型コロナ感染の背景とも共通～

過去・未来

社会の仕組み



SDGs の限界と課題

SDGsの推進における留意点

新たな縦割りを作らない

レジリエンス
との融合

～17本の柱でできた樽に水を溜める作業～

それぞれの柱(目標)の間に隙間を作らない
高さのバランスを調整し、短い柱を作らない
それぞれの課題の関係や相互の影響を確かめる
行政、経済界、大学、地域、市民等における縦割りも徹底的に排除!

17の目標はあくまでも例示

- 様々な施策がどう関係し合うべきか？
- 社会の在り方そのものを見直す必要はないのか？
- 「18番目の項目」として、何が考えられるのか？
- ……文化、幸福感、LGBT、多様性、少子化、原発

- その地域独自の目標はどうあるべきか？

単なる「ビジネスチャンス」ではない！

「SDGsを推進することによってこそ経済成長が可能」と捉える視点への転換。

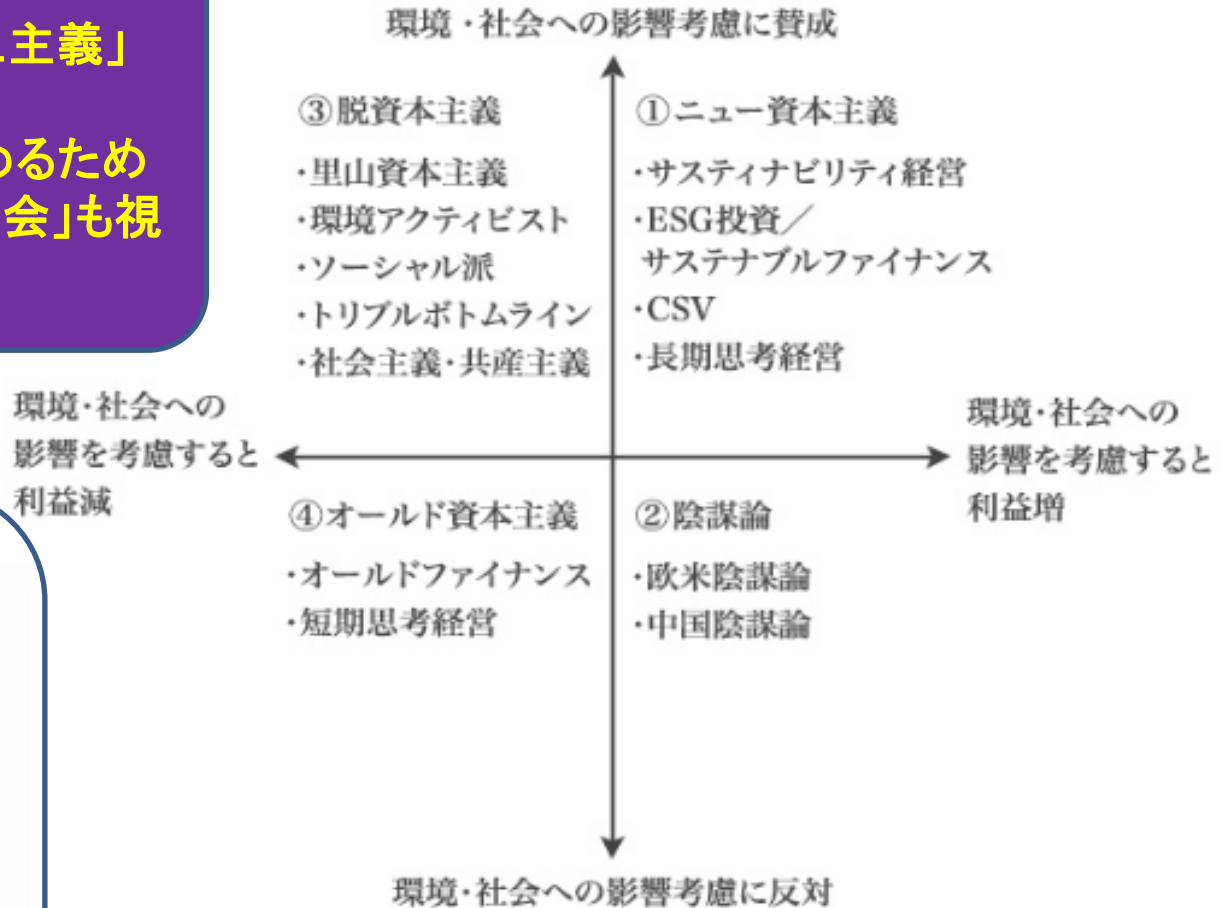
しかし、同時に「経済成長至上主義」からは脱却すべき。

地球への負荷を最小限に留めるため「脱成長論」や「定常型経済社会」も視野に！

環境に配慮した取組への考え方

- 1 オールド資本主義
利益が減るから反対する
- 2 脱資本主義
利益が減っても賛成する
- 3 **ニュー資本主義**
利益が増えるから賛成する
- 4 陰謀論
利益が増えても反対する

経済認識に関する4分類モデル



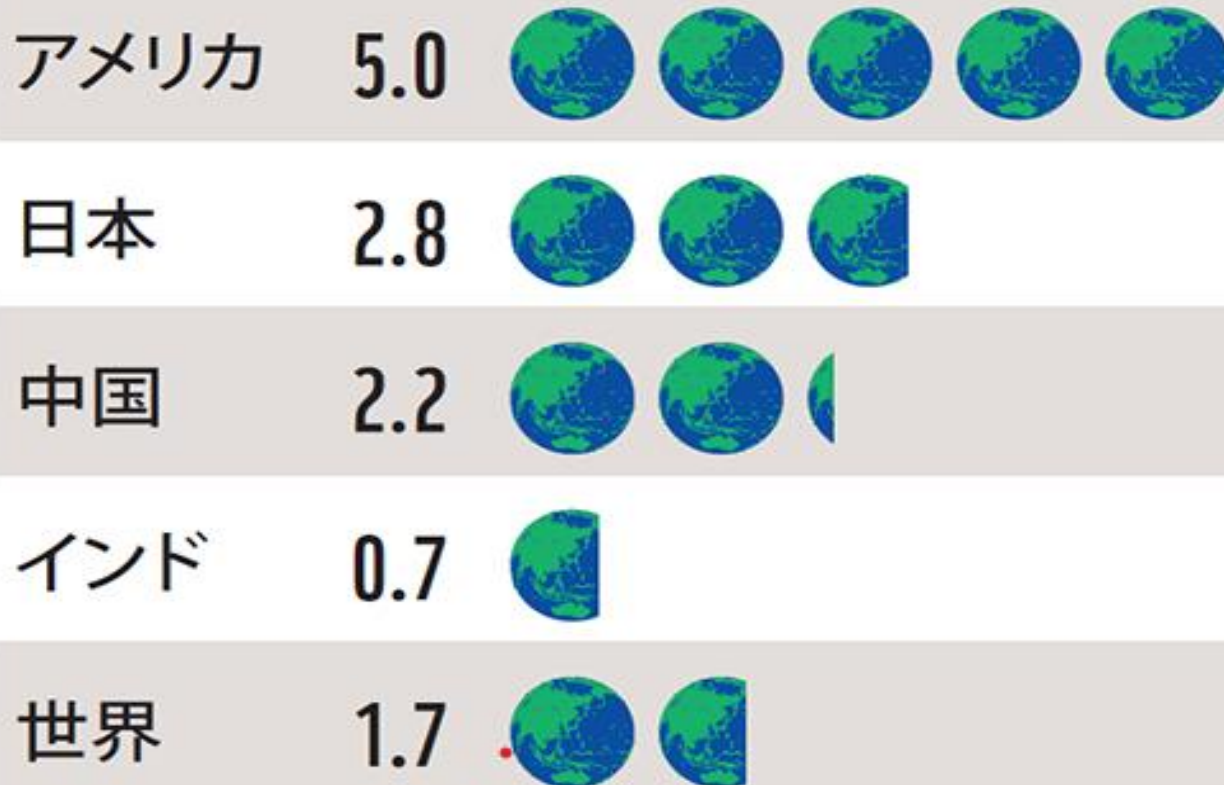
夫馬賢治「ESG思考」から借用

エコロジカル・フットプリント

地球は何個必要？

地球は無限の存在ではない！

もし世界人口がその国と同様の生活をしたら…



国や地域による
格差や
同じ国の中での
格差の存在

誰一人
取り残さない社会
を目指す結果

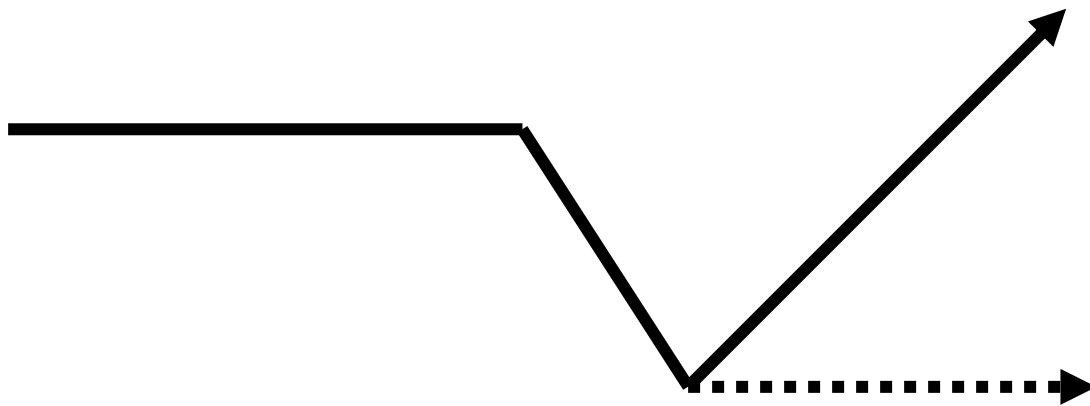
私たちは
今の生活を
続けられるのか
？

SDGsと車の両輪となる
レジリエンス

持続可能性とレジリエンスの関係

持続可能 \neq 現状維持

落ち込んだ時の回復 \Rightarrow レジリエンス



「レジリエンス (Resilience)」とは何か？

- 物質や物体が跳ね返って、もともとの形になる能力, 弾性
- 困難にも折れることなく, 素早く回復する能力, 強靱性
- 複雑かつ変化する環境下での適応力、関係性の理解
- 中断や阻害を引き起こすリスクを運用管理する組織の力
- 医療分野では「自己治癒力」としても解釈

雨降って、地固まる！
災い転じて、福となす！
Build Back Better！

バネの反発

ラグビーボール
の跳ね返り

ダメージを受ける前以上に、より良く立ち直る姿

リベンジ

SDGsの推進に向けた様々な困難
～先行き不透明で前例のない社会の新たな課題～

安心安全な社会への信頼⇒大規模災害, 異常気象, 国際紛争,
テロへの不安, 新型コロナ禍

物質的豊かさ・利便性の優先⇒新たな価値観・幸福感の必要性
⇒東京一極集中の限界

右肩上がり・経済成長の継続⇒右肩下がり・縮小社会への突入

～大胆な改革・発想の転換が必要～
キーワードは「レジリエンス」

「レジリエンス」に含まれる力や姿勢

● 気持ちや感情をコントロールする力

- ・ 粘り強さ、打たれ強さ

● 変化する状況に順応できる柔軟性

- ・ 厳しい局面やダメージに出会った時に、柔軟に対処し、課題にチャレンジしようとする気概

● 自分は大切だという感覚・・・自己有用感

● 必要な時に助けを求められる力

- ・ 本当に困った時に他者の助けや協力を求めることのできる勇気

● 自分を犠牲にしない・・・自尊感情

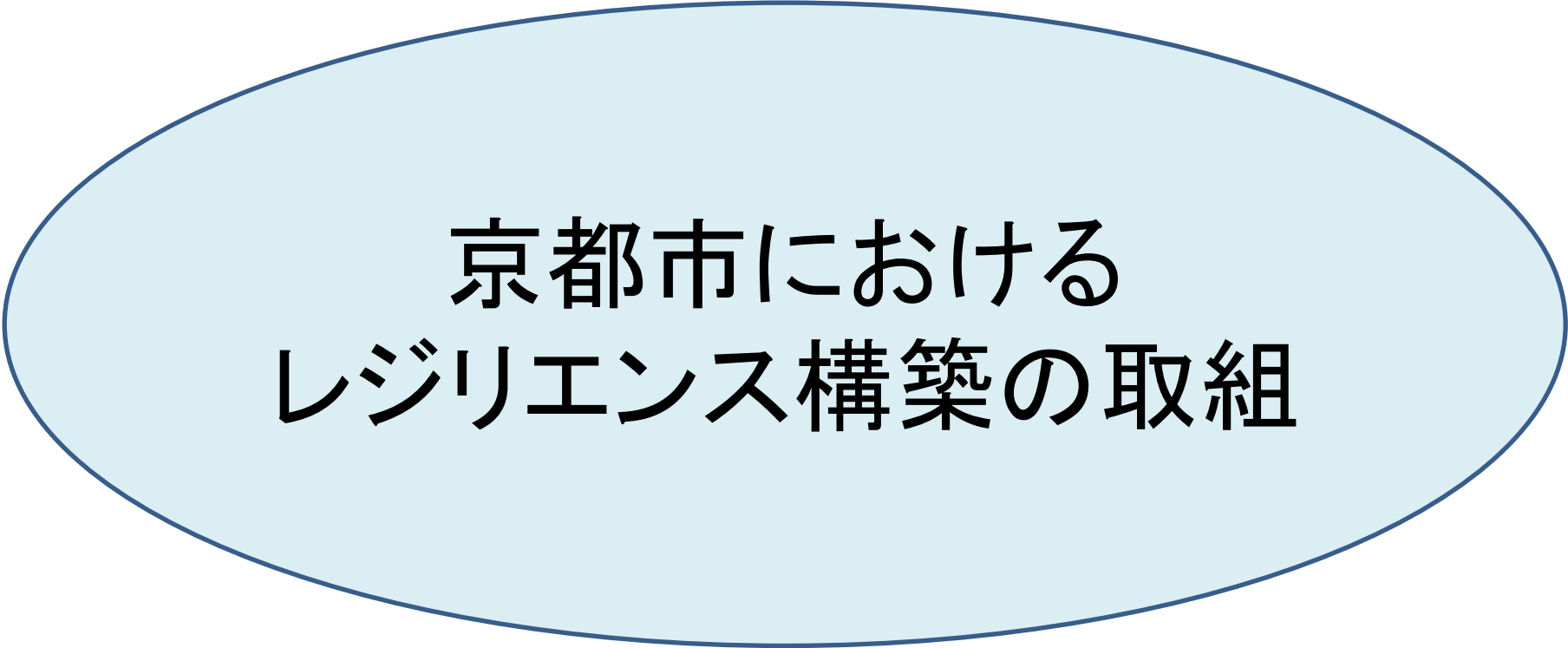
● 楽観的であること

- ・ 前向きに努力すれば報われるという楽観論



(ベネッセ教育情報サイト)

繋がりと関係性、相互の影響を見極める想像力や他者への配慮
人間が本来、持ち合わせている「自己治癒力」

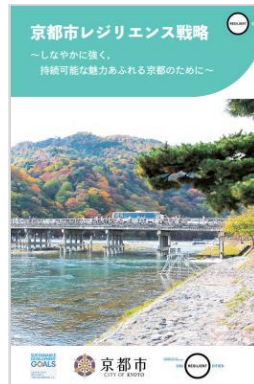


京都市における
レジリエンス構築の取組

ロックフェラー財団提唱による「世界100のレジリエント・シティ」 を契機とした「レジリエンス」理念の政策への反映

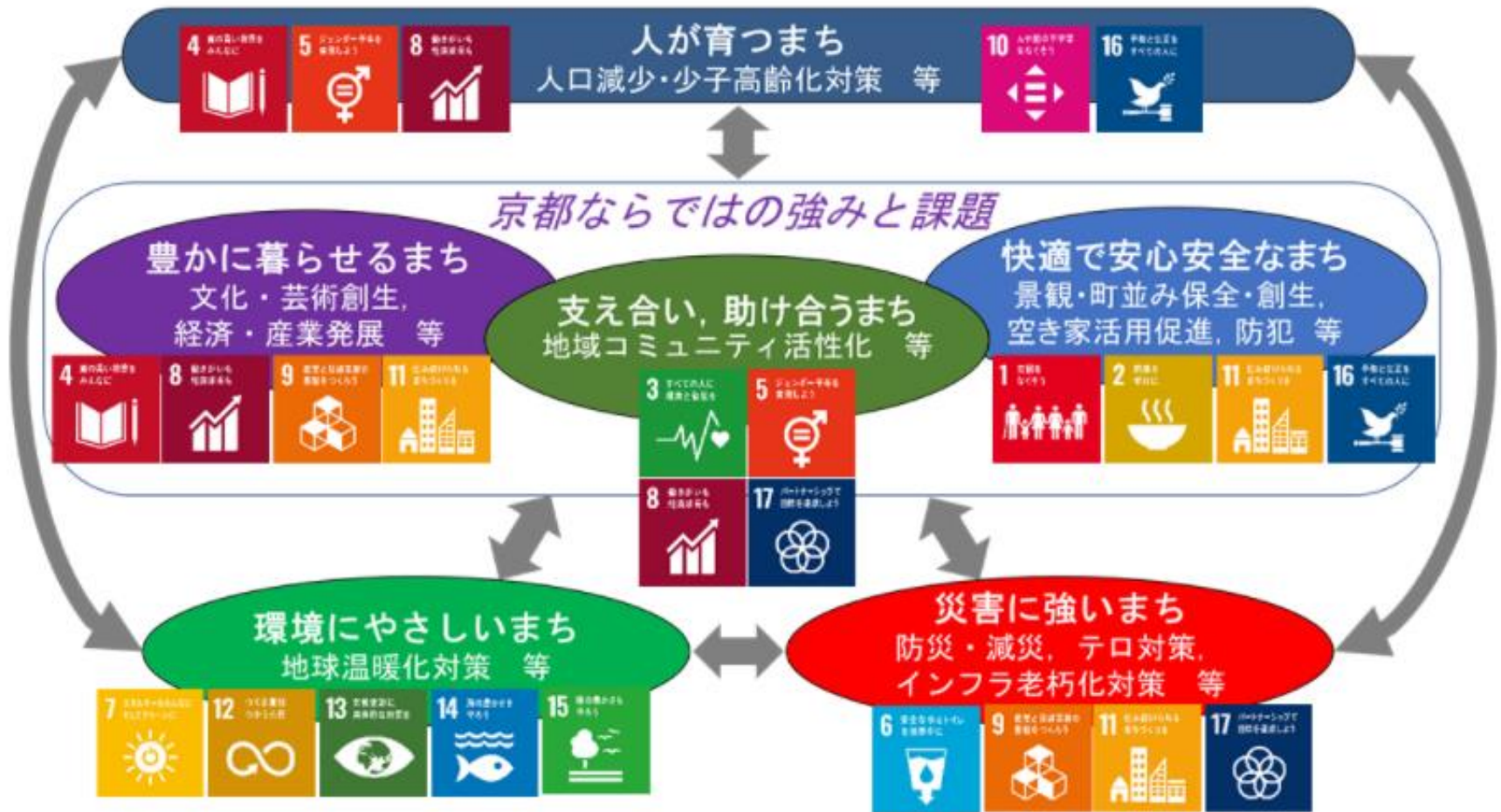
- 世界レベルでの著しい「都市化」、「グローバル化」、「気候変動」等を踏まえ、米国のロックフェラー財団が創設100周年を記念して、2013年に独自プロジェクト立ち上げ。「レジリエンス戦略」を備えた都市の国際的ネットワークを目指し、2013年～2015年の3ヶ年で、世界100都市を募集し、京都市も選定され、CRO (Chief Resilience Officer)を配置。
- 京都市では、市長を本部長とする「京都創生総合戦略・レジリエンス・SDGs推進本部会議」のもと、2019年3月に「京都市レジリエンス戦略」を策定

- 2019年にロックフェラー財団のプロジェクトが終了した後も、新たに「レジリエント・シティ・ネットワーク」(RCN)として、ロックフェラー財団に加え、世界銀行なども参画して、約100都市が参加するネットワークとして、「気候変動、循環社会、公平性」を柱に継承して活動しており、京都市も引き続き参画。



「京都市レジリエンス戦略」(2019)の重点分野を基本とする 「京都市SDGs未来都市計画」の策定(2021)

～「千年の都・京都発！SDGsとレジリエンスの融合
しなやかに強く、持続可能な魅力あふれる都市を目指して」～



【6つの重点的取組分野の関係図と関連の深いSDGsのゴール】

IPCC総会 → 2050 CO₂排出量正味ゼロへ

DO YOU KYOTO?

環境にいいことしていますか？

京都議定書(1997)

2050年の
世界の都市の
あるべき姿

パリ協定(2015)

京都議定書
20周年 = 持続可能な都市文明の構築を目指す京都宣言(2017)

パリ協定を
支える = IPCC京都ガイドライン(2019)
1.5℃を目指す京都アピール(2019)

1.5℃目標に向け、京都から
覚悟を持って挑戦！

2050年
CO₂排出量正味



- ・京都市のゼロ宣言以降、
169自治体に拡大【2020年
11月3日現在】
(人口の64%, 8,013万人)
- ・国に「2050年ゼロ」など
削減目標引き上げを要望
→ 菅首相「2050年ゼロ」を表明

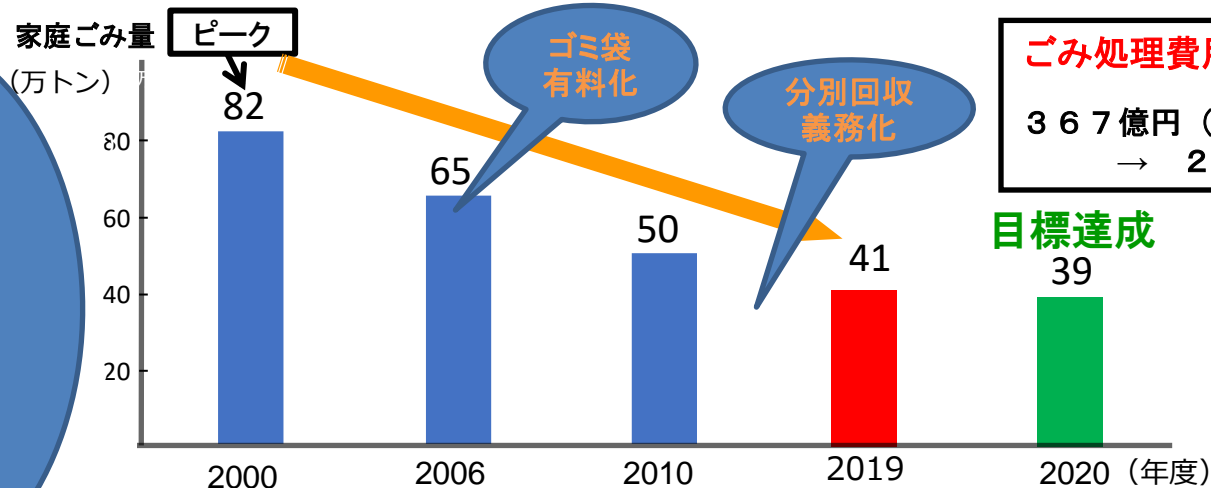
- ・ 2050年ゼロの実現に向けた方策等を京都市環境審議会や若手職員によるプロジェクトチーム、京のアジェンダ21フォーラムをはじめ様々な主体と議論
- ・ 2050年ゼロ・脱炭素社会の実現を地球温暖化対策条例に明記（京都府と協調）
- ・ 2030年度までの「行動の10年」で温室効果ガス排出40%以上削減へ
省エネの加速、再エネの飛躍的拡大、イノベーション、担い手の育成を推進！

市民ぐるみで家庭ごみ半減！

「ゴミ袋有料化・分別回収」「2Rの促進」「生ゴミ3キリ」
「宴会での30・10」「食べ残しゼロ推進店舗」

「しまつの ころ条例」

「京都市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例」



ごみ処理費用も143億円削減

367億円 (2002年度 ピーク時)
→ 224億円 (2019年度)

目標達成

【市民1人1日当たりの家庭ごみ量】

京都市 : 396グラム (2019年度)
政令指定都市平均 : 554グラム (2018年度)

清掃工場(クリーンセンター)も削減へ

～2004年・・・5施設
～2012年・・・4施設
現在・・・3施設

将来の大規模改修時には2施設体制で対応

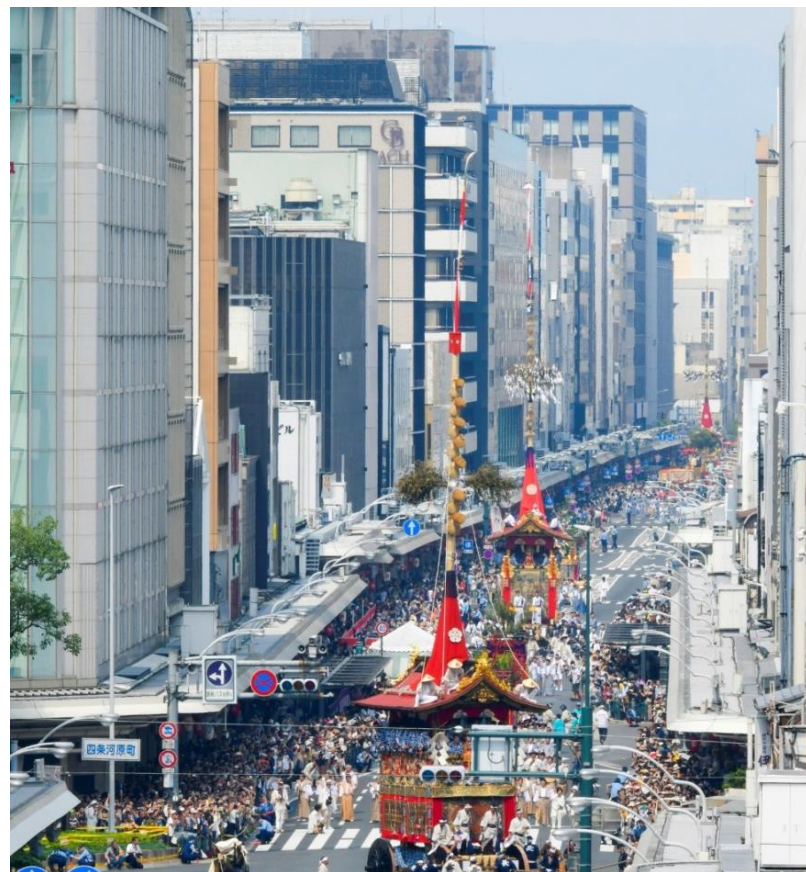
屋外広告物の適正化

- 屋上看板, 点滅看板を一律禁止するなど 厳しい条例改正(平成19年)と厳格な運用
 - ・違反状態の解消に向けた体制の抜本的な強化(最大で110人体制(平成26年度))
 - ・市内全域約4万5千件の建物の広告物を徹底調査
 - ・市民・事業者の協力と措置命令等の厳格な指導
- 適正化率は30%(推計)から94%へ劇的に向上



提供: 京都新聞社

平成19年

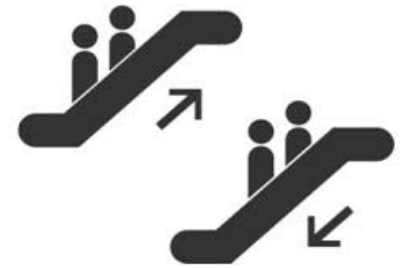


平成30年

経済成長至上主義
からの脱却

～「成長」社会から「定常型」社会へ～
決して立ち止まることではない「現状維持」

- 経済成長至上主義(右肩上がり)からの脱却
 - **人口減少**を含む右肩下がり「縮小社会」への挑戦
→下りのエスカレーターに乗っている私たち
 - かつて経験したことのない状況への挑戦
⇒「創造性」が必要
 - 社会の変革に向けて、人が育つ仕組みの構築が必要
 - 新しいシステムを創り出す創造的プロセスの中で人は育つ
- <社会の担い手の育成によってのみ持続可能性は実現>



持続可能な定常型社会

⇒人が育ち続ける社会

⇒「レジリエンス」のある社会

現代社会の「不幸」と「不安」 ～Well-being の視点～

自然を支配しようとする無限の欲望 ⇔ 不幸
想定外の事態への心構えの不足 ⇔ 不安

「吾唯足るを知る」

「知足者富」(老子)

地球上に生命を授かった

一生物としての感謝や謙虚さこそSDGsの原点？



龍安寺の蹲

～むすびに～

「レジリエンス」は進化しつつある理念

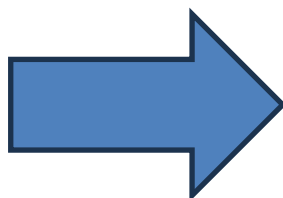
- 「地球の支配者」という驕りからの脱却
⇒自然の中で生かされている感謝の念で、
人にも社会にも自然にも優しいライフスタイルの実践
- 「自分さえ良ければ！」「今さえ良ければ！」の克服
⇒豊かさ・便利さのみを追い求める価値観からの脱却
- 「想定外」を排除し、ピンチをチャンスに！
⇒柔軟性、適応力、余剰性、他者との協力、融合力…
- 「レジリエンス」は決して与えられるものではない
⇒当事者意識、参画意識を持つ活動の中で得られる資質

レジリエントな社会とは、

レジリエンスを備えた市民・団体が集い、活動し、育つ中で、
より高次のレジリエンスを形成する循環型の持続可能な社会！

ご清聴
ありがとうございました！

さらに、
もう少し興味のある方は



先行き不透明な社会における レジリエンス・SDGsについて、 身近な問題として、一緒に考えてみませんか？

主な内容

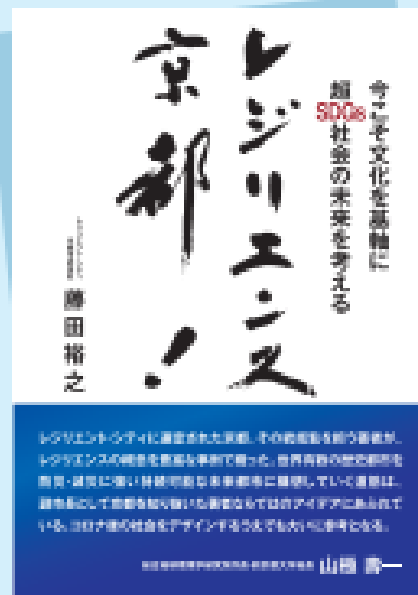
- 第1章 レジリエンスって何？
- 第2章 レジリエント・シティ実現への道のり
- 第3章 レジリエンス概念の広がり
- 第4章 京都府の都市特性
- 第5章 レジリエンス戦略の策定
- 第6章 レジリエンスから見た京都府の強みと課題
- 第7章 人口減少社会におけるレジリエンス
- 第8章 子どもの貧困とレジリエンス
- 第9章 気候変動とレジリエンスの融合
- 第10章 新型コロナウイルスとレジリエンス
- 第11章 人間と自然との関係から考えるレジリエンス
- 第12章 経済成長至上主義からの脱却とレジリエンス

著者：藤田 裕之

推薦：山橋 壽一

題字：杭迪 柏樹

価格1,800円(税別)
A5判/296ページ/モノクロ/星製本



2021年11月発売!

書籍のお問い合わせ
お申し込み先

レジリエント・シティ京都市統括監室

TEL.075-222-3405

FAX.075-212-2902

発行元

〒604-8578
京都市中京区西門外通東1上A



京都新聞出版センター TEL.075-241-8100 FAX.075-222-1899

注文書

品名	レジリエンス京都！
品名	今こそ文化を基軸に超SDGs社会の実現を考える
品名	価格1,800円(税別) 京都新聞出版センター
品名	(ISBN) ISBN978-4-7638-0757-1 C0000 Y18000